

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）				入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）			
武庫川女子大学大学院健康・スポーツ科学研究科健康・スポーツ科学専攻では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って30単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対して、課程修了を認定し修士（健康・スポーツ科学）の学位を授与します。				武庫川女子大学大学院健康・スポーツ科学研究科健康・スポーツ科学専攻修士課程（または博士課程、博士後期課程）では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。  本専攻は、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通科目」と「スポーツ教育学分野」、「スポーツ科学分野」、「スポーツマネジメント学分野」及び「健康科学分野」で開講する特論、演習、実習を通して「知識・理解」、「技能・表現」、「思考・判断」、「態度・志向性」を身につけ、「論文作成研究科目」では修士論文の作成に向けた研究計画立案、予備実験・調査、本実験・調査などの研究活動ができる学年積み上げ方式の教育課程を編成します。  また、学生が主体的に考える力を養うためのアクティブラーニングと課題によって能動的に学修する態度を養い、より高度な専門的知識を活かした研究活動と論文作成へと繋げていきます。  1. 「共通科目」は本専攻の基盤科目に相当します。「健康・スポーツ科学研究法」では、研究のプロセス、統計手法および研究スタイルについて解説し、修士論文を作成するための基礎的知識を学びます。さらに、「身体運動評価学実習」では健康・スポーツ科学の現場で必要な身体運動の見方・考え方を学び、種々の実習を通して身体運動の量的・質的評価についての理解を深めます。  2. 「スポーツ教育学分野科目」は、健康教育およびスポーツ教育についての専門知識を高め、高い指導力を有した教育のスペシャリストを養成するための科目区分です。  3. 「スポーツ科学分野科目」はスポーツ文化学、健康行動科学、コーチング、レジャー・レクリエーションの専門知識を高め、高い指導力を有した運動指導者のスペシャリストの養成、またスポーツ動作、技術、心理および体力について科学的手法を用いて分析・評価を行い、競技種目特性に応じた適切なトレーニングプログラムやコンディショニングプログラムを立案・指導できるスペシャリストを養成するための科目区分です。  4. 「スポーツマネジメント学分野科目」は、経営学、マーケティング論、イベント学などの専門知識を高め、スポーツイベントの企画・運営、スポーツ組織の戦略と財務、スポーツによる社会課題解決などを立案・実践できるスポーツマネジメントのスペシャリストを養成するための科目区分です。  5. 「健康科学分野科目」は医学、理学療法学、健康科学などの専門知識を高め、問題解決能力と研究能力を有した健康をサポートできるスペシャリストを養成するための科目区分です。  6. 「論文作成研究科目」では、修士論文の作成準備に必要な内容を含んだ「課題研究Ⅰ」と関連する最新情報を交えて論理的な思考で論文作成に導く「課題研究Ⅱ」を設けています。  なお、本専攻で掲げたディプロマ・ポリシー達成の評価は、学位論文審査要件（学術雑誌への投稿または学会発表）と修士論文をもって総括的に行います。				武庫川女子大学大学院健康・スポーツ科学研究科健康・スポーツ科学専攻修士課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWACOMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシーを理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシーに則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する人の入学を受け入れます。			
武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目				MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目				武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素			
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	現代社会で不可欠な基礎的ITリテラシー、すなわち「情報リテラシー」、「コンピュータリテラシー」及び「ネットワークリテラシー」を理解し、ITを安全に活用することができる。	知識	社会を理解し、健康・スポーツ科学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。					
	2	“生きること”につながる専門性	2-1	（スポーツ教育学分野） 学校体育、ないしは地域社会の健康・スポーツ教育における実践課題を構造的に理解し、課題解決のための教育学的原則、あるいは実践的方法論を幅広く理解できる。							
			2-2	（スポーツ科学分野） スポーツに関連する諸問題を自然科学、人文科学、社会科学の学術的知見に基づき、総合的に理解できる。また、それらを基盤として基礎的研究から実践的应用へと幅広い研究に対応できる知識を身につけている。							
			2-3	（スポーツマネジメント学分野） スポーツや健康に関連するマネジメント問題を学術的知見に基づき、総合的に理解できる。また、それらを基盤としてスポーツマネジメント諸領域における課題解決に志向した研究ができる知識を身につけている。							
		2-4	（健康科学分野） 健康科学分野に関連する諸問題を学術的知見に基づき、総合的に理解できる。また、それらを基盤として基礎的研究から臨床的应用へと幅広い研究に対応できる知識を身につけている。								
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	人を思いやり、人の立場に立って物事を考えることができる 高い倫理観に支えられた規律のある態度で研究に臨むことができる。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している					
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	研究テーマの社会的背景から導き出された仮説を検証する過程を重んじ、粘り強く研究に取り組むことができる。		健康・スポーツ科学の指導者、研究者として子どもの健やかな成長・発達と、全ての人々の生活の質の向上に貢献したいという熱意を持っている。					
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	研究分野を超えて他者に意見を求める謙虚な姿勢で研究に取り組むことができる。							
行動	6	論理的に考え伝える力	6	研究に必要な基礎的ITリテラシーを活用し、研究テーマの社会的背景と研究課題を解決するための実験・調査の条件を計画的に立案することができ、得られた結果を論理的思考で整理・説明することができる。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。					
	7	新たな価値を創造する力	7	現代における研究分野の諸問題を明らかにして解決の糸口を見つけ、研究を進めることができる。		豊かな感性と高い倫理観を持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度を有している。					
	8	多様な人々と協働する力	8	本専攻では学校教育現場、スポーツ競技選手をはじめ身体機能障害及び身体機能回復に関する人、さらにスポーツビジネスの対象となる消費者を対象とした研究を推進している。そのため、多様な人々との信頼関係を築いて協働しながら研究を進めることができる。							